





非営利活動を繰り返し紹介してNPOへの理解を進めています

2016 冬号 No.76

ずの非営利活動をあらためてご案内します

「す」とこの街で暮らした、その願いのために、をモットーに続けてきた、高齢者や障害のある人などの在宅生活を支援する活動。手助けを必要とする人(利用者)も、手助けができる人(活動者)も、はせさんずの会員となって、市民同士で助け合う有償ボランティアです。

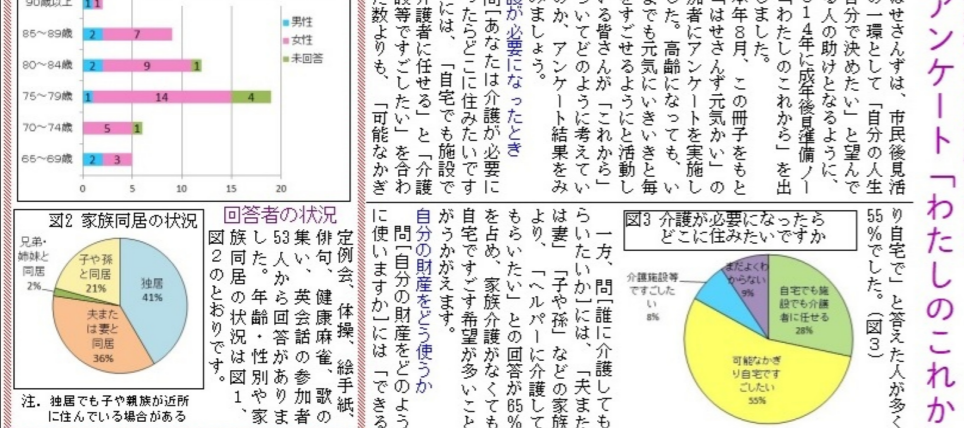


「福祉有償運送」のステッカーを貼った自動車と移送サービス活動者

任意後見 任意後見とは、任意後見人を選任して、任意後見人が任意後見人の財産を管理し、任意後見人が任意後見人の財産を処分する権利を有する。任意後見人は、任意後見人の財産を管理し、任意後見人が任意後見人の財産を処分する権利を有する。

2018 秋号 No.83

いろいろなアンケートを実施して結果をお知らせ



2017 春号 No.78

ヘルパー研修会の報告

ヘルパー研修会 1月18日(水)、「ヘッド」マにヘルパー研修会を開催。ヘルパー研修会を開催。ヘルパー研修会を開催。

2019 秋号 No.87

池上まつり参加の様子

池上まつり参加の様子 池上まつり参加の様子。池上まつり参加の様子。

2014 冬号 No.68

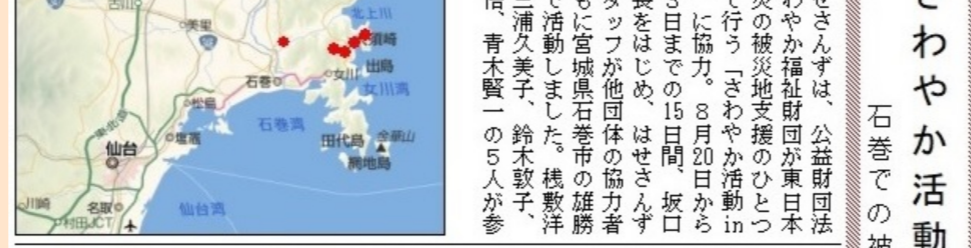
ヘルパー活動日記を連載

ヘルパー活動日記 生田目 綾子。ヘルパー活動日記。生田目 綾子。

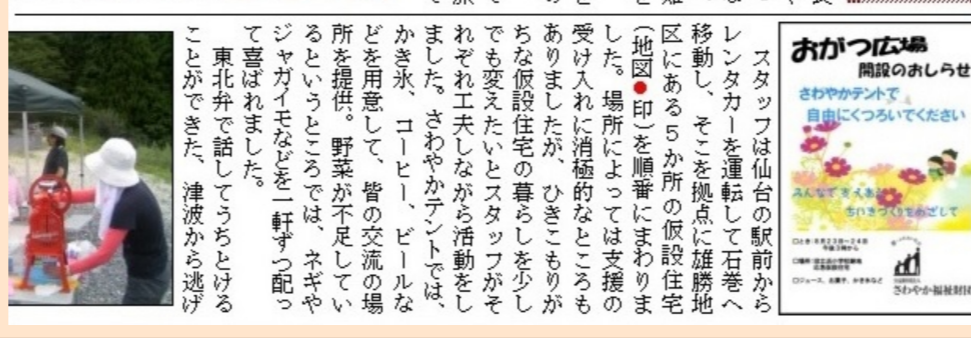
東日本大震災の被災地支援にも参加しました

2011 秋号 No.55

さわやか活動 in 雄勝



はせさんずは、公益財団法人さわやか福祉財団が東日本大震災の被災地支援のひとりとして行う「さわやか活動in雄勝」に協力。8月20日から9月3日までの15日間、坂口理事をはじめ、はせさんずのスタッフが他団体の協力者とともに宮城県石巻市の雄勝地区で活動しました。



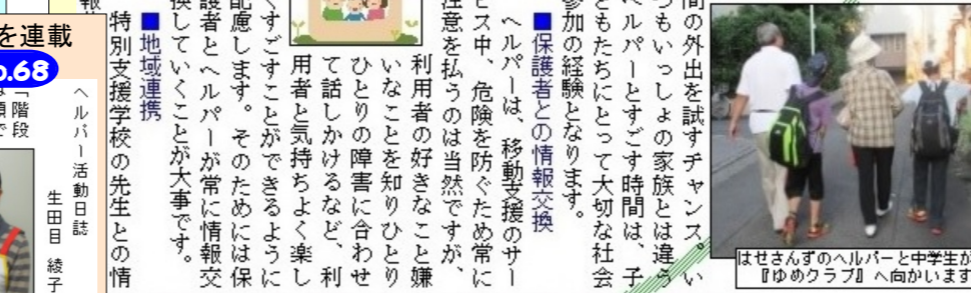
仮設住宅前のさわやかテント

2013 秋号 No.63

障害福祉サービスの移動支援について特集

矢口特別支援学校 大田区では、知的障害のある小学生、中学生、高校生の多くが、東京都立矢口特別支援学校に通っています。学校は東急多摩川線武蔵新田駅から5分。小・中学生はスクーibusもありません。

家庭と学校をつなぐ移動支援 地域での連携をめざして 午後3時ごろにはバス停で、ヘルパーがスクーibusの到着を待ちます。学校帰りの小学生をバス停から自宅まで送るためです。歩いて帰る子、電車に乗って帰る子、それぞれ保護者の要望に合わせてヘルパーが付き添います。



はせさんずのヘルパーと中学生が、『ゆめクラブ』へ向かいます

栄えある社会参加章受賞のニュースを初めてのカラー印刷で!

2004 晩秋号 No.28

社会参加章を受賞

平成16年10月4日(月)芝浦パークホテル別館で「さわやか福祉財団代表の和久井良一氏より内閣府から「社会参加章」が授けられました。はせさんず理事長に贈られました。



全国のさわやかインストラクターに囲まれての授与式

2010 冬号 No.52

幸福づくり考 in おおた

はせさんずは15周年を記念し、公益財団法人さわやか福祉財団主催のフォーラム「幸福づくり考」を大田区に誘致して、地域のふれあい、地域での生きがいテーマにした「幸福づくり考」をテーマにした「幸福づくり考」を開催しました。



幸福づくり考 in おおた